

別紙

森林病虫害等駆除業務（国庫奨励・秋駆除）特記仕様書

- 第1 本業務は、「岩手県松くい虫被害対策推進大綱」（平成13年12月）及び「大槌・気仙川地域森林計画」の松くい虫被害対策の方針に基づき、市内の松くい虫被害を受けた枯損木（以下「被害木」という。）等の伐倒及びくん蒸について、関係法令を遵守して行うものとする。
- 第2 施業内説明細書に記載の施業場所において、整理番号及び目印のある被害木をくん蒸処理すること。
- 第3 くん蒸処理に使用する薬剤は、農林水産省登録の薬剤とし、登録されている使用方法、使用上の注意事項を遵守し、安全な管理・使用に努めること。また、使用後の薬剤の容器等の処分を適正に行うこと。
- 第4 かかり木にならないよう処理するとともに、他の立木に損害を与えないように留意すること。かかり木となった場合は、安全に留意して処理すること。
- 第5 本業務は、森林の所有（管理）者による委任、同意を得て行うため、その所有（管理）者からの問合せや質疑に、受注者は答えること。
- 第6 業務の細目は、下記のとおりとする。これによらないものは、その都度、調査職員の指示をうけること。

項 目	内 容	備 考
施業箇所	施業箇所に至る山林の入口に、目印等を付けること。	
伐倒	伐り高は地際から原則20cm以下とすること。	
	伐根にナンバーをマーキングし、必要に応じて、木杭などの目印をつけること。	
くん蒸処理		
枝条	伐倒時に散乱した枝条を林内に放置しないこと。	
集積	直径2cm以上の末木枝条を含む被害木すべてを集積すること。	
	杭等により押さえ木を設置し、安全に集積すること。	
（災害誘引の排除）	崩落しないものであること。	
	沢筋、推定最大水位高から、2m以上高い位置とすること。	
	大雨の際、流下の恐れがないこと。	
	冬期には日光の当たる場所を選定すること。	
薬剤	使用した薬剤の容器が確認できるものであること。	
	使用量は材積1m ³ あたり1リットルとし、被覆シートの表面に使用量を明記すること。	

くん蒸シート	松くい虫くん蒸用生分解シートを使用すること。	
	すそ押さえを十分にし、密閉すること。シートを破損させないこと。	
	十分に密閉し、くん蒸処理している旨を表示すること。	
	シートが破損した場合は、必ずガムテープ等で補修し、密封状態を保つよう処理すること。	
くん蒸期間	1 4 日間以上とすること。	
施業確認		
写真の管理	施業箇所毎に撮影し、整理すること。	
	作業の着手前、作業中及び完了後の写真を撮影すること。	
	施業が適切に行われていることが確認できるよう撮影すること。	
	薬剤・資材等の購入量及び使用量が確認できるよう撮影すること。	
	可能な限り施業地全域が入る場所で撮影すること。	
	「業務名」「事業種」「整理番号」「施業場所（地番）」「森林所有者」「本数」「材積」「林小班」「野帳番号」に加え、「撮影年月日」「作業時期」「事業主体名」等を明記した看板とともに撮影すること。	
資材の管理	薬剤及び資材について、それぞれ受払簿を作成し、購入履歴及び使用状況を記入すること。	
	薬剤及び資材の空袋等を保持すること。	
その他の注意事項		
事故等の防止	人身事故等の防止のため、研修等を実施すること。	
火気の取扱	火気使用は、予め火元責任者を決め、火災等を発生させないよう点検を行うこと。	
	ツチクラゲ防止のため林内で火気を使用しないこと。	
ゴミ対策	山にゴミを捨てないこと。	